

## 日中国交正常化50周年記念事業を実施しました！

6月から10月にかけて、『日中国交正常化50周年記念事業』の各種取組に、高2の中国語選択者をはじめとした生徒20名が取り組みました。

6月10日（金）に本校に中国駐長崎総領事の張大興様が来校され交流会を開催しました。学校紹介を英語で行うなどして、交流を深めました。

9月15日（木）には、「身近な中国を探す旅」と題し、長崎市内にある中国と関連する史跡を巡検しました。崇福寺や孔子廟、梅屋庄吉ミュージアムなどを巡りました。生徒からは「自分が知らないうちに、意識していないうちに中国の歴史に触れていたことがわかった」「長崎の文化は、中国の文化と融合しながら発展していることがわかった」などの感想があり、生徒は楽しみながら深く学びました。



↑ 媽祖堂でガイドの説明に聴き入る生徒

10月19日（水）には、長崎市内の中国文化について学んだ内容をスライドにまとめ、本校に再びご来校いただいた張大興様にプレゼンテーションを行いました。

詳細な内容について英語や中国語で伝え、好評をいただくことができました。また、張様からは、長崎と中国の友好交流の歴史についてご講演をいただき、学びをさらに深めることができました。最後に日中友好の歴史に関するクイズ大会が行われ、生徒全員が正解することができました。楽しく充実した時間となりました。

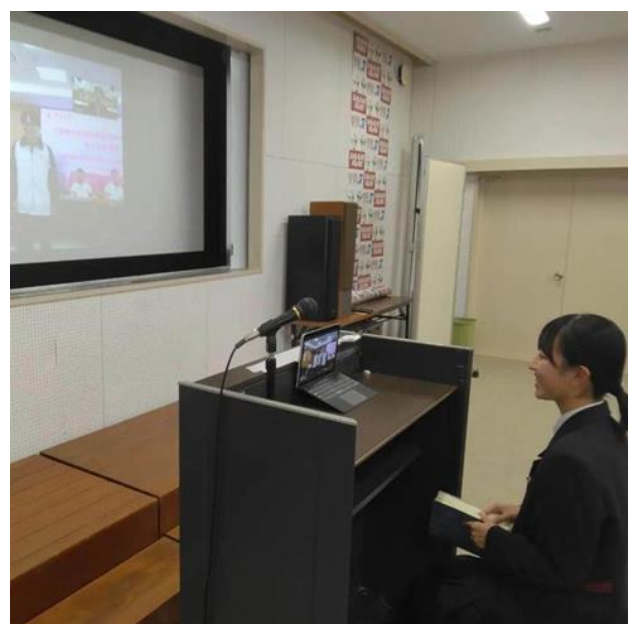


↑ 巡検内容を総領事にプレゼンテーション

そして10月26日（水）には、「日中高校生交流会」と題し、中国福建省泉州市にある培元中学校（日本では高等学校にあたる）の3年生との交流会を実施しました。

両校の校長の挨拶に始まり、中国語や日本語で互いの学校紹介や両国の文化の紹介、質疑応答等を行って友好を深めました。対話では料理やアニメの話などで盛り上がり、国は違っても同じ高校生同士、笑顔で対話が進みました。

また、培元中学校による伝統楽器の演奏と書道の実践発表を拝見し、感動しました。本校は次年度7月に本校主催で開催する高校生国際平和会議について説明しました。これからも両校の交流を続けていくことを約束し、友好的な未来に向けた、希望に満ちた時間となりました。事業全体を通して、生徒たちは大きく成長することができました。



↑ 中国の高校生と笑顔で対話はずむ